

令和5年4月9日執行
滋賀県議会議員一般選挙

選挙公報

甲賀市選挙区
滋賀県選挙管理委員会

村上
げんよう
元気の
処方箋

「健康しが」へまっすぐ一直線!!



私も力強く応援しています
甲賀市長 岩永裕貴

村上げんよう プロフィール

- 昭和30年 土山町で生まれる
- 昭和54年 愛知医科大学医学部卒業
- 昭和58年 滋賀医科大学勤務
- 平成11年 村上整形外科クリニック開設
- 平成13年 滋賀県スポーツ医会会長
- 平成18年 滋賀医科大学臨床教授
- 平成25年 甲賀市市長連合会会長
- 平成31年 滋賀県議会議員<初当選>
- 令和3年 自由民主党土山支部支部長
- 令和3年 甲賀市バラスポーツ協会会長
- 令和4年 県議執行財政・新型コロナウイルス感染症等危機管理対策特別委員会副委員長

子どもたちへの処方箋

- 救急医療体制の更なる充実を目指します
- 幼児保育を推進し、風邪など軽い症状の子どもを預かる仕組みを一層広げ、子育て世代の負担軽減を目指します
- 産後ケアの体制強化を進め出産に優しい環境整備を目指します
- 水質保全に力を入れ、子どもたちの未来に優しい甲賀の自然を目指します

お年寄りへの処方箋

- 健康を支え、お年寄りが活躍できる社会を目指します
- 公共交通に対するサポート体制の強化を目指します
- スポーツを通じて、老若男女の心と体の健康増進を目指します
- 積極的なバリアフリー化を目指します

働く世代への処方箋

- 甲賀の自然や忍者など独自文化を活用した外国人観光客向けの施設で観光客誘致を目指します
- 三重県や東近江市・日野町とも連携し、名神名阪連絡道路の確実な実現を目指します
- 企業誘致を行い、甲賀市と滋賀県の更なる発展を目指します
- 産休や育休の積極的な推進で働き方改革の推進を目指します
- 地域での就労機会の充実を図り、甲賀市で働けるまちづくりを目指します

農業者への処方箋

- 新型コロナウイルスの影響を受けている農業者を支援し、経営継続・発展できるよう万全の対策を図ります
- 野生獣による農業被害を一層減らすため侵入防止柵の整備をはじめ、獣害対策アドバイザー等人材育成の取組み等支援の拡充を図ります
- 「朝宮茶」「土山茶」の消費者ニーズに対応した付加価値の高い茶葉の生産や、「近江のお茶」の消費拡大対策・生産基盤維持管理に対する支援を図ります

自由民主党公認

村上

むら
かみ
げんよう

プロフィール

- 1972年 甲賀市生まれ(甲賀市甲賀町在住)
- 1985年 甲賀町立油日小学校 卒業
- 1988年 甲賀町立甲賀中学校 卒業
- 1991年 滋賀県立国際情報高等学校 工業学科 情報技術科 卒業
- 1995年 学校法人コンピュータ総合学園HAL 4年制課程 情報経済学科 卒業
- 2015年 滋賀県議会議員選挙 初当選
- 2019年 滋賀県議会議員選挙 二期目当選
- 2021年 チームしが県議団 政策調査会 副会長
- 2022年 チームしが県議団 政策調査会 会長

これまでの主な役職等

- 公益社団法人水口青年会議所 理事長
- 特定非営利活動法人ごぞれGO-SHU 理事長
- 甲賀市消防団 甲賀方面隊田堵野班 班長
- 甲賀市立油日小学校 PTA役員
- 甲賀市立甲賀中学校 PTA会長
- 立命館山中学校高等学校 PTA役員
- 近江兄弟社高等学校 PTA役員
- 滋賀県立国際情報高等学校 同窓会 会長(現在)
- 特定非営利活動法人 ROSAスポーツクラブ 顧問(現在)
- 株式会社あきない応援団 取締役会長(現在)

公式ホームページ Facebook Instagram



「誰一人取り残さない」持続可能な滋賀の実現に向けて

1 自然と共に

- 豊かに実る美しい地域づくりと滋賀・びわ湖ブランドの発信
- 再生可能エネルギーをベースとした新しいエネルギー社会の構築
- 琵琶湖をはじめとするめぐみ豊かな環境といのちへの共感を育む社会の実現

2 人と共に

- 子どもの生きる力を育み、若者や女性が輝く社会の実現
- 「文化とスポーツの力」を活かした元気な滋賀の創造
- すべての人に居場所と出番があり、最期まで健康で充実した人生を送れる社会の実現

3つの「共に」

3 社会と共に

- 減災対策など地域防災力の向上
- 滋賀の強みを活かし、新たな強みを生み出す滋賀発の産業の創造
- 「ひと」や「もの」が行き交う活力ある県土づくり

これまでの主な取り組み

- CO2ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例制定
- 第72回全国植樹祭の開催 ● 農水産業の6次産業化の推進 ● 獣害対策への取組み ● 林業従事者の育成と県産木材の流通促進への取組み ● 「琵琶湖システム」の世界農業遺産認定 ● MLGs(マザーレイクゴールズ)策定 ● 国立環境研究所琵琶湖分室設置 など

これまでの主な取り組み

- 乳幼児医療費・多子世帯保育料の無料化 ● 学ぶ力向上の取組み ● 「うみのこ」新船就航 ● 県立高校のエアコン整備 ● 県立美術館のリニューアル ● 障害者差別のない共生社会づくり条例制定 ● 医療、福祉、介護人材の育成、確保に向けた取組み ● がん対策の推進とがん患者の就労支援 など

2期8年
の実績



田中

た
な
か
ま
つ
た
ろ
う

チームしが公認

岸田大軍拡・増税NOの一票を

岸田内閣による大軍拡・増税には、これまで自民党を支持してきた人からも批判の声が。ところが県議会自民党は「防衛力強化の意見書」を強行可決しました。戦争はあかん、憲法9条守れ、平和の願いは、小西へ。

国スポ優先ではなく、暮らし守れの一票を

国スポ優先ではなく福祉や教育こそ優先する県政に税金の使い方を変えれば切実な願いは実現します。

- 高校卒業までの医療費無料化
- 学校給食費の無償化
- 加齢性難聴に伴う補聴器購入に補助
- 養護学校新設・分離で、超過密・大規模化解消

甲賀から16年ぶりに議席獲得を

全県で5議席以上の議員団を 日本共産党

小西

きよつぐ

32年医療現場で働き 市議12年の経験いかす

昨年、の知事選出馬で、三日月県政の問題点が次々と明らかになりました。国スポには593億円も税金をつぎ込む一方で、教育・福祉予算は後回し。そのため県立高校生一人当たりの教育費は全国最低、老人ホーム数も全国最低。税金の使い方を考えれば暮らしが良くなることを実感しました。県議会では、自民・公明・チームしがも三日月県政の応援団に、「ここを変えない」と今回立候補を決意しました。甲賀から16年ぶりに、何としても暮らしを守る日本共産党の議席を。力を貸して下さい。



小西

きよつぐ
喜代次

1950年生れ、前甲賀市議(3期)、滋賀民医連事務局長など歴任、信楽町勅旨



令和5年4月9日執行
滋賀県議会議員一般選挙

選挙公報

甲賀市選挙区
滋賀県選挙管理委員会

美しい滋賀を目指して。

ただしいことをまっすぐに。

プロフィール

1955.11.9 甲賀市生まれ
県立大津商業高等学校卒業
甲賀市議会議員（3期目）
一般社団法人 滋賀県調理師会会長
比水口青年会議所理事長
信楽町商工会青年部長
甲賀市商工会理事
甲賀市地域観光協会合併協議
会会長
甲賀市総合計画審議会会長

甲賀市議会役職歴

副議長
総務常任委員長
名神名阪連絡道路整備促進甲
賀市議会議員連盟会長
甲賀行政組合議会監査委員

自民党
昭和54年入党（党籍43年）
滋賀県連役員（平成30年～現在）

4/9は投票へ！

甲賀から滋賀へ
まち・ひとを
元気にする。

- お年寄りや地域の宝～豊富な人生経験を次代に繋げる豊かな社会の実現に取り組みます。
- UIターンを希望する、若者たちの働く場所や子育て支援を積極的に進めます。

婚活・結婚・妊活・妊娠・出産・子育て・就労・教育、一環した考えのもと、働くお母さん・お父さんを応援します。

地域創生の主役となる女性活躍・起業の推進を強力にサポートします。

地域経済の回復と、農業振興を支援し地場産品の強化に取り組みます。

文化・芸術に親しみやすい環境に取り組み文化・芸術No.1を目指します。

美しいこころの輝き
豊かな暮らしと日々の幸せを感じる

美しいまちの輝き
地域の活力・自然との共生

美しいひとの輝き
誰もが幸せになるためには

植樹祭レガシーを基本に、森林整備と河川整備に取り組み山の再生を目指します。



小川ふみと

政治は国民のもの
自民党

推薦者 甲賀市長 岩永裕貴 参議院議員 小寺ひろお 参議院議員 ありむら治子

政策はこちらから

<https://shigaraki.jp/> ふみチャンネルWeb

facebook @yumekokafumito

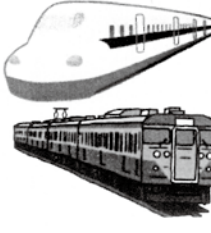
防災治水政策により エネルギー地産地消・CO2削減も推進

河川整備などの治水政策は都道府県の専権事項。治水政策を積極的にお守りすると同時に、技術革新が進む小水力発電の普及を進め、エネルギーの地産地消とCO2削減を進めます。



草津線減便に歯止めを！ 新幹線栗東新駅の再挑戦！

新幹線栗東新駅事業で、複線化及び新快速の導入予定だったJR草津線。実現していれば、今日の減便は免れていました。名神名阪連絡道路の推進と合わせ、鉄道網拡充も推進します。新幹線栗東新駅の再検討、JR草津線の東西拡充を推進し、甲賀市の大切な公共交通を守ります。



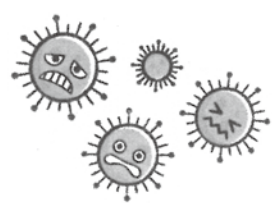
滋賀甲賀の次の20年を拓く
20年後に向けた種を共に撒きませんか



糸目まつき

確かな医療政策・コロナ禍に終止符を

様々な情報が錯綜してきたコロナ対策。現状に見合った、適正な対策に見直します。感染症2類相当から5類相当への変更が決まりました。後戻りのない、確かな医療政策を実現し、元の日常を完全に取り戻します。



経済・農業の強靱化でつくる賑わい

物価高騰は、過剰な輸入依存が原因。工業品、農作物の国産化、滋賀県内での生産力強化をします。2年後の大阪関西万博での発信等で販路を拡大します。結果、雇用を増やし、若い人達を滋賀甲賀に呼び込みます。



投票日 4月9日(日)

※期日前投票・不在者投票の投票期間は、

4月1日(土) から 4月8日(土) までです。
(告示日の翌日) (選挙期日の前日)

この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。